がんばろう
末崎！
津波なんかに
負けない！

館報まっさき

第２８５号
平成３０年　８月２０日
大船渡市立
末崎地区公民館
電話（F 兼）29-2955

末崎町の石碑・祠・神社(13)

お地蔵さん（地蔵菩薩）について　～　その２

(2)　地蔵盆とは、

地蔵菩薩の縁日を地蔵会といって毎月 24 日なのですが、特に旧暦の 7 月 24 日を中心とした 3 日間、または 2 日間で行われる地蔵菩薩のお祭りが地蔵盆です。

地蔵盆は、寺院に祀られているお地蔵様でなく、道祖神（どうそじん）や庚申塔等と一緒に集落の境界や道の交差点などに祀られているお地蔵様が対象です。

また、お地蔵様は子供の守り神とされておりますが、その理由は次の話が基になっているようです。

『親より先に亡くなった子供は、三途（さんず）の川の、賽の河原（さいのかわら）で小石を積み上げていく修行をします。ある程度まで積み上げると鬼がやって来てそれを壊してしまいます。壊されると、また最初から、子供は小石を積み上げていきます。そしてまた壊される。これが繰り返されるのです。これを哀れんだお地蔵様が、子供達を鬼から守ったと言われています。』

地蔵盆は子供の幸せを願う行事として広まったと言われています。

地蔵盆は関西地方を中心とした行事とされておりますが、三陸海岸にも伝わっているとされております。

(3)　当地の路傍のお地蔵様のご利益、

「地蔵盆」としての考えかたと、旅の安全、あるいは旅の途中で不慮の事故等で亡くなった人のご冥福を願って、あるいは集落に悪霊等が入ってこないように願って建てられたものと思われます。

船河原旧街道、末崎町と大船渡町の境界、3 体のお地蔵さん

末崎地区助け合い協議会の設置へ

末崎地区公民館の呼びかけにより、各地域公民館長並びに福祉関係等に携わる人々、地区関係団体の首長による「末崎地区助け合い協議会委員会」（仮称）は、去る7月19日、市ふるさとセンターに、大船渡地域包括ケア推進室より担当者を招き、助け合い協議会の必要性・重要性について、説明をうけた。

今後、我が国では急速な人口減少と高齢化が同時進行する。国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成18年12月推計）」によれば、2030年には、総人口1億1,522万人、うち65歳以上が3,667万人（31.8%）、2055年には、総人口は8,993万人に減少するものと推計されている。

65歳以上の高齢者を15～64歳までの人口で支えるとすれば、1.26人で1人を支えなければならない。

介護を取り巻く現状を見ると、75歳以上人口の30%が介護認定を受けている。要支援・要介護の原因となるものは、1．心臓病、2．筋・骨格系、3．脳疾患（認知症）であり、認知症患者が増加している。要支援者とは体はそれなりに動くけれど、買い物・調理・着替え・入浴・お金の管理・薬を飲むなど「生活行為」の一部が自立できない人である。それでは、どうすれば、介護保険認定者の増加を防ぐことができるか。また、独居高齢者・高齢者世帯も増加している。この方々をどう支えていくか、が課題である。少子高齢化で「生活支援・介護」が求められるが、担い手不足で対応できなくなってきていることから、「生活支援・介護」を必要とする状態を増やさないようにすることだ。それには、高齢者の「介護予防」・「社会参加」に力を入れるべきである。また、「生活支援・介護」の問題を家族の内部に留め置かないで、地域や社会で引き受けることが重要である。

誰もが、住み慣れた家で、地域で、安心して暮らしたいと思っている。それには、安心して暮らし続けることができる仕組み「地域包括ケアシステム」が必要である。その地域包括ケアシステムの中の一つが「助け合い協議会」である。具体的には、地域公民館単位で地域住民が互いに支えあい助け合う活動を行う。サロン（お茶っこの会）やカラオケ、健康体操など自分たちでできることから始めればいい。それらを行っていくなかで、より良い人間関係が生まれ、絆も強くなる。支えあい助け合う環境も日ごとに整っていく。困っている人がいれば、誰かが行動を起こす。そういう地域でありたい。

市は平成27年度から市内11地区に働きかけて「助け合い協議会の設置」を進めている。既に市内6地域が設置し活動している。

末崎地区においても高齢者等の自立支援と介護予防等について、支えあい助け合う地域活動の推進と実践並びに地域包括ケアについて、関係団体との連携等、取り組むべき課題を協議することを目的に「末崎地区助け合い協議会」を設置するよう進めている。

末崎町敬老会

末崎町敬老会は9月9日(日)、末崎中学校体育館を会場に開催されます。本年度の敬老会対象者数（75歳以上、調整前）は、986人で昨年より31名多くなっております。末崎の人口は、4,119人（6月30日現在）ですから23.9%に当たり、ほぼ4人に1人が75歳で、市内で最も長寿率が高い町ではないかと思われます。参考までに地域別敬老会対象者数をあげますと、船河原29、峰岸38、細浦25、神坂60、中野121、小細浦57、平153、平南19、小田53、梅神52、小河原70、門之浜73、中井29、西舘34、碁石85、三十刈47、山根41です。

ご長寿の皆様には、今年も長テーブルに二人ずつ、椅子に腰かけてお座りいただく形で、ゆっくりお過ごし頂けるようにいたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

〈ご長寿の皆様への敬老祝金・記念品について〉

88歳到達者（昭和5年4月2日～昭和6年4月1日生まれの方）に祝金10,000円、今年度100歳に到達された方には、別途それぞれの誕生日に、市から直接祝金が贈呈されます。85歳に到達された方には、これまで市社会福祉協議会から長寿座布団が贈呈されてきましたが、諸般の事情により昨年度をもって廃止となりました。代わって、各地区公民館に敬老会運営資金として30,000円の助成金が与えられることになりましたので、ご理解のほどお願い申し上げます。

★トマト水耕栽培パート社員募集説明会

日　時：平成30年9月7日（木）午後7時から（受付午後6時30分から）

会　場：ふるさとセンター2階会議室

内　容：業務内容、雇用待遇等についての説明

その他：①当日は履歴書の持参は不要。②あらためて採用説明会を11月に開催予定。③雇用待遇等についての電話による事前の問い合わせはご遠慮ください。④今回の説明会についてのお問い合わせ先　株式会社　いわて銀河農園　TEL：019-673-7790

★「パソコン・スマホ相談」

日　時：9月8日(土)　13時～16時

場　所：ふるさとセンター2階会議室

パソコン・スマホ操作でお困りの方、さらにレベルアップを図りたい方、どうぞおいで下さい。

★「草月流生け花」教室

日　時：9月12日(水)10時～12時
9月26日(水)10時～12時

会　場：ふるさとセンター2階会議室

主　催：末崎地区公民館

講　師：鈴木隆子さん

持ち物：花器・花ハサミ・剣山・水切りボール・タオル・ゴミ袋・新聞紙

費　用：花材代は実費となります。

連絡先：鈴木隆子さん　電話29－3473

＊花材の準備がありますので8月31日(金)までに連絡をお願い致します。

みなさまご自由にご参加下さい。